

# 三菱UFJ 海外債券オープン（3ヵ月決算型）

## 愛称：四季の恵み（海外債券）

追加型投信／海外／債券

作成対象期間：2022年6月16日～2022年12月15日

第 82 期 決算日：2022年9月15日

第 83 期 決算日：2022年12月15日

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
当ファンドは、三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド受益証券を主要投資対象とし、わが国を除く世界主要国の公社債への分散投資により、信託財産の長期的な成長をめざし、運用を行います。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

#### 第83期末（2022年12月15日）

基準価額 10,304円

純資産総額 11,882百万円

#### 第82期～第83期

騰落率 +1.0%

分配金合計<sup>(\*)</sup> 105円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(\*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufg.jp/>

[ファンド検索] に  
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで  
閲覧およびダウンロード

 **MUFG** 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

#### ■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用  
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

# 運用経過

第82期～第83期：2022年6月16日～2022年12月15日

## ▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



|       |             |
|-------|-------------|
| 第82期首 | 10,308円     |
| 第83期末 | 10,304円     |
| 既払分配金 | 105円        |
| 騰落率   | 1.0%        |
|       | (分配金再投資ベース) |

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ1.0%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

### ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（1.7%）を0.7%下回りました。

## 基準価額の主な変動要因

### 上昇要因

米ドル、ユーロが対円で上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

### 下落要因

米欧の長期金利が上昇したことなどが基準価額の下落要因となりました。

※ベンチマーク（ファンドの運用を行うにあたって運用成果の目標基準とする指標）は、F T S E 世界国債インデックス（除く日本・円ベース）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

※ベンチマークは、当作成期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

2022年6月16日～2022年12月15日

## 1万口当たりの費用明細

| 項目        | 第82期～第83期 |         | 項目の概要   |
|-----------|-----------|---------|---|
|           | 金額 (円)    | 比率 (%)  |   |
| (a) 信託報酬  | 64        | 0.607   | (a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数) |
| （投信会社）    | (32)      | (0.303) | ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価        |
| （販売会社）    | (29)      | (0.276) | 交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価              |
| （受託会社）    | (3)       | (0.028) | ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価                |
| (b) その他費用 | 1         | 0.012   | (b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数             |
| （保管費用）    | (1)       | (0.010) | 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用                   |
| （監査費用）    | (0)       | (0.002) | ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用                       |
| （その他）     | (0)       | (0.000) | 信託事務の処理等に要するその他諸費用                                |
| 合計        | 65        | 0.619   |   |

作成期中の平均基準価額は、10,559円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

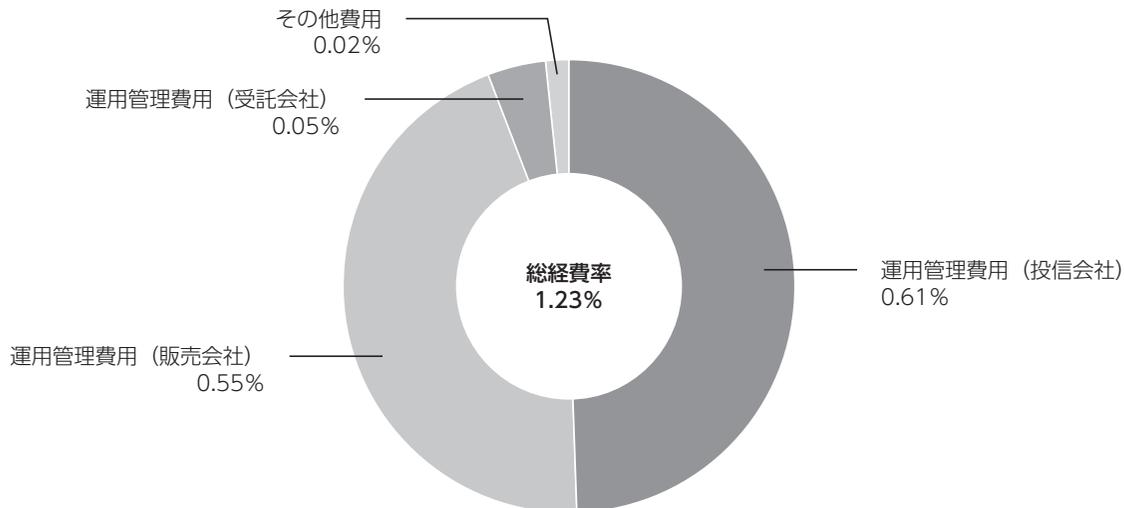
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## （参考情報）

### ■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.23%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

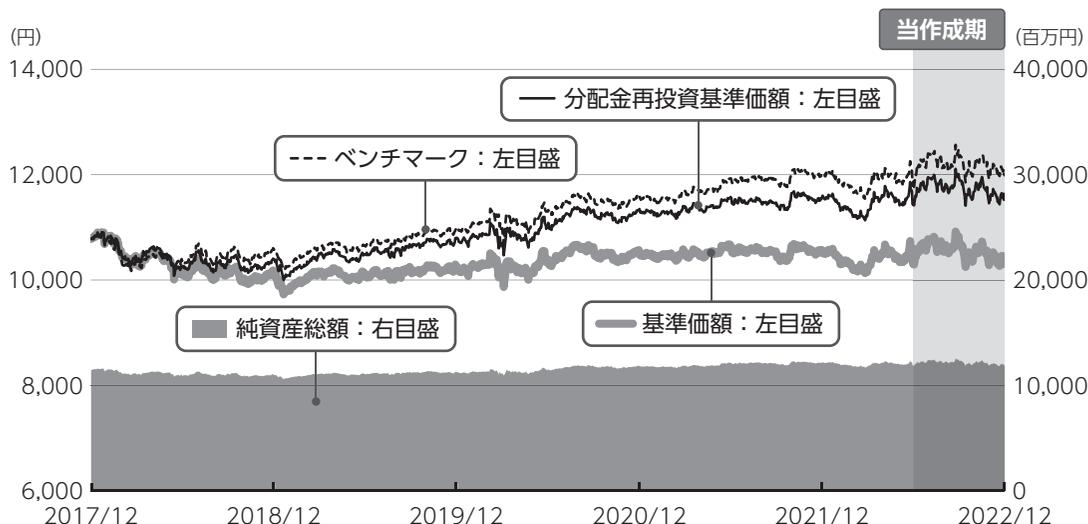
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2017年12月15日～2022年12月15日

## 最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額、ベンチマークは、2017年12月15日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。  
 ※海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

## 最近5年間の年間騰落率

|                   | 2017/12/15<br>期初 | 2018/12/17<br>決算日 | 2019/12/16<br>決算日 | 2020/12/15<br>決算日 | 2021/12/15<br>決算日 | 2022/12/15<br>決算日 |
|-------------------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基準価額 (円)          | 10,783           | 10,097            | 10,237            | 10,532            | 10,518            | 10,304            |
| 期間分配金合計 (税込み) (円) | —                | 285               | 260               | 220               | 205               | 200               |
| 分配金再投資基準価額騰落率 (%) | —                | -3.7              | 4.0               | 5.1               | 1.8               | -0.1              |
| ベンチマーク騰落率 (%)     | —                | -2.0              | 4.1               | 5.4               | 3.6               | -0.2              |
| 純資産総額 (百万円)       | 11,431           | 10,964            | 11,229            | 11,818            | 12,117            | 11,882            |

※ファンド年間騰落率は、ベンチマーク年間騰落率と比較するため、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

ベンチマークは、F T S E 世界国債インデックス（除く日本・円ベース）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

第82期～第83期：2022年6月16日～2022年12月15日

## 投資環境について

### ▶ 海外債券市況

#### 米独長期金利は上昇しました。

米独長期金利は、世界的なインフレ上昇を受けて米国を中心に複数の国で積極的な金融引き締め観測が高まったことから、当作成期首から2022年10月にかけて上昇しました。その後、米国の消費者物価指数（CPI）の伸びが市場予想を下回ったことなどを背景に、金融引き締めペースの減速期待が高まったことな

どから、米独長期金利は低下しました。結果、当作成期を通じて見ると、米独長期金利は上昇しました。

### ▶ 為替市況

#### 米ドル、ユーロは対円で上昇しました。

日銀が緩和的な金融政策を維持する中、米独長期金利の上昇により本邦との金利差が拡大したことなどから、米ドル・ユーロは対円で上昇しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ 三菱UFJ 海外債券オープン（3ヵ月決算型）

三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド受益証券を通じて、わが国を除く世界主要国の公社債に投資をしています。債券の実質組入比率は、運用の基本方針にしたがい高位に維持しました。

### ▶ 三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド

わが国を除く世界主要国の公社債を主要投資対象とし、ベンチマークを中長期的に上回る投資成果をめざして運用を行いました。当作成期を通じて債券の組入比率は高位を維持しました。債券デュレーション（平均回収期間や金

利感応度）は、金融政策の織り込み具合等を注視しコントロールしました。米国の債券デュレーションは当作成期首から2022年6月中旬にかけてはベンチマーク比短め、6月下旬から9月下旬にかけては同中立から長めでコントロールし、その後は同短めとしました。欧州の債券デュレーションは当作成期首から6月中旬にかけては同長め、6月下旬から7月上旬にかけて同短め、その後は同長めとしました。

欧州においては、欧州中央銀行（ECB）の金融政策などを背景に国別配分をコントロールしました。フランスは当作成期首から10月にかけてベンチマーク比アンダーウェイトとし、その後は同中立

からオーバーウェイトでコントロールしました。スペインは当作成期首から11月にかけて同中立からアンダーウェイトでコントロールし、その後は同オーバーウェイトとしました。また、当作成期を通じてドイツ、イタリア、オランダ、ベルギーを同中立からアンダーウェイトでそれぞれコントロールしました。

カントリーアロケーション戦略（通貨配分）では、景気の相対感等に着目し通貨配分をコントロールしました。米ドルは当作成期首から11月上旬にかけてベンチマーク比オーバーウェイトとし、その後は同中立からアンダーウェイトでコント

ロールしました。ユーロは当作成期首から11月にかけて同アンダーウェイトとし、その後は同オーバーウェイトとしました。中国元は当作成期首から10月にかけては同中立からオーバーウェイトでコントロールし、その後は同アンダーウェイトとしました。また、当作成期を通じてシンガポールドル、メキシコペソは同オーバーウェイトで維持し、カナダドル、豪ドル、スウェーデンクローナ、ノルウェークローネは同中立からオーバーウェイト、英ポンドは同中立からアンダーウェイトでそれぞれコントロールしました。

第82期～第83期：2022/6/16～2022/12/15

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

### ▶ 三菱UFJ 海外債券オープン（3ヵ月決算型）

ファンドの騰落率は、ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス（除く日本・円ベース）の騰落率（1.7%）を0.7%下回りました。

#### マザーファンド保有以外の要因

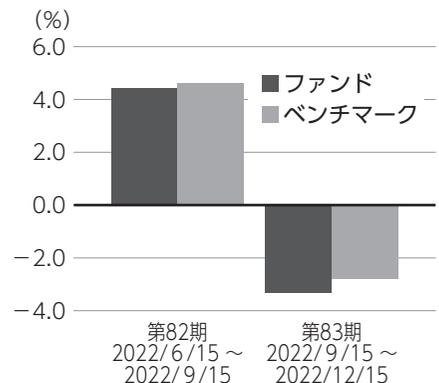
信託報酬等の費用がマイナスに影響しました。

#### マザーファンド保有による要因

##### マイナス要因

2022年8月以降、イタリアをベンチマーク比アンダーウェイトとしていたことなどがマイナス要因となりました。

### 基準価額（ベビーファンド）とベンチマークの対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

| 項目             | 第82期<br>2022年6月16日～2022年9月15日 | 第83期<br>2022年9月16日～2022年12月15日 |
|----------------|-------------------------------|--------------------------------|
| 当期分配金（対基準価額比率） | 50 (0.465%)                   | 55 (0.531%)                    |
| 当期の収益          | 50                            | 26                             |
| 当期の収益以外        | －                             | 28                             |
| 翌期繰越分配対象額      | 2,269                         | 2,240                          |

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

### ▶三菱UFJ 海外債券オープン（3ヵ月決算型）

三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド受益証券の組入比率を高位とする方針です。

### ▶三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド

金利戦略においては、各国の景気動向に加え、財政政策・金融政策を含む各種政策や市場の内部要因が長期金利へ与える

影響を考慮し、デュレーションなどのコントロールを行います。その中で、欧州では各国の財政状況や政策対応などを重視した銘柄選別に注力します。また、カントリーアロケーション戦略においては、各国のファンダメンタルズ状況や投資家のリスク選好度を重視し、環境見通しの変化に対応して調整を行う方針です。債券の組入比率は高位を維持し、信用力の高い国債中心の組み入れを維持する方針です。

# お知らせ

## ▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

## ▶ その他

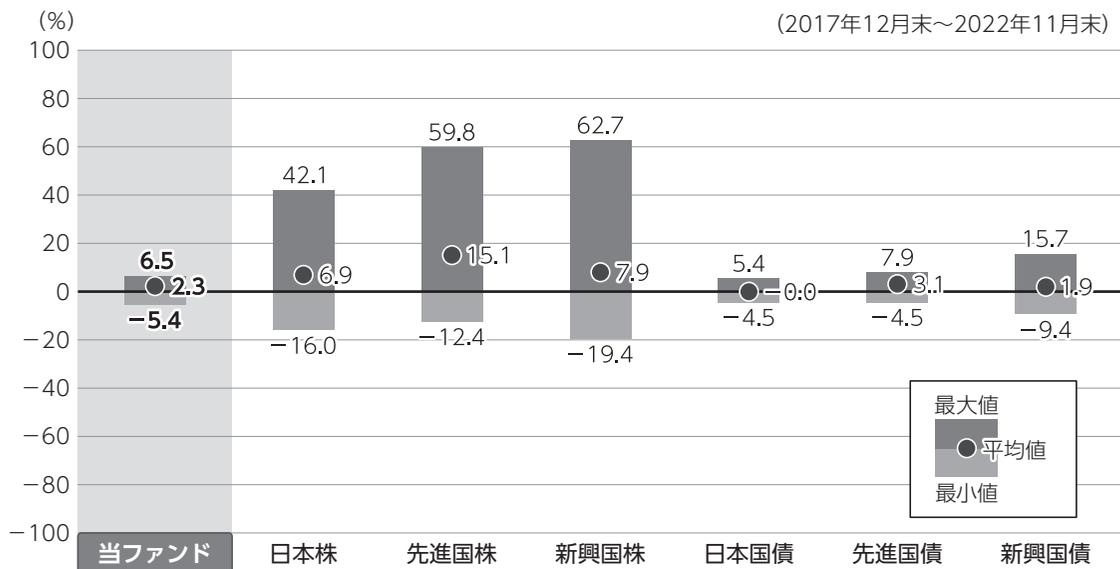
- ・該当事項はありません。

\*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。  
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufig.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

# 当該投資信託の概要

|        |  |
|--------|--|
| 商品分類   | 追加型投信／海外／債券  |
| 信託期間   | 無期限（2002年2月5日設定）   |
| 運用方針   | 三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド受益証券を主要投資対象とし、わが国を除く世界主要国の公社債への分散投資により、信託財産の長期的な成長をめざします。（ファンドにおいてわが国を除く世界主要国の公社債とは、国債、政府保証債、政府機関債、国際機関債（複数国が協調して設立した国際的な組織が発行する債券）、社債等を指します。）実質組入外貨建資産の為替変動リスクに対するヘッジは原則として行いません。 |
| 主要投資対象 | <p>■当ファンド</p> <p>三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。このほか、当ファンドで直接投資することがあります。</p> <p>■三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド</p> <p>わが国を除く世界主要国の公社債（国債、政府保証債、政府機関債、国際機関債、社債等）を主要投資対象とします。</p>                         |
| 運用方法   | わが国を除く世界主要国の公社債を実質的な主要投資対象とし、分散投資を行うことにより、長期的な収益の獲得をめざします。   |
| 分配方針   | 毎年4回決算（原則として3、6、9、12月の各15日。ただし、15日が休業日の場合は翌営業日とします。）を行い、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行う方針です。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。  |

# ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2017年12月から2022年11月の5年間ににおける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

## 各資産クラスの指数

|      |                                |
|------|--------------------------------|
| 日本株  | 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）            |
| 先進国株 | MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）         |
| 新興国株 | MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み） |
| 日本国債 | NOMURA-BPI（国債）                 |
| 先進国債 | FTSE世界国債インデックス（除く日本）           |
| 新興国債 | JPMorgan Global Diversified    |

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

# 当該投資信託のデータ

2022年12月15日現在

## ▶ 当該投資信託の組入資産の内容

### 組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

| ファンド名                  | 第83期末<br>2022年12月15日 |
|------------------------|----------------------|
| 三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド | 99.8%                |

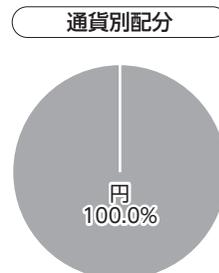
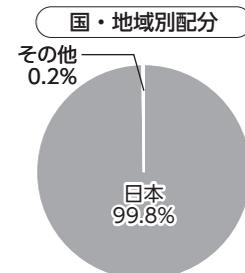
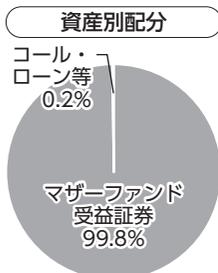
※比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

### 純資産等

| 項目             | 第82期末<br>2022年9月15日 | 第83期末<br>2022年12月15日 |
|----------------|---------------------|----------------------|
| 純資産総額 (円)      | 12,338,735,738      | 11,882,814,401       |
| 受益権口数 (口)      | 11,518,949,599      | 11,532,656,277       |
| 1万口当たり基準価額 (円) | 10,712              | 10,304               |

※当作成期間中（第82期～第83期）において追加設定元本は312,034,854円  
同解約元本は 277,086,340円です。

### 種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。

591401

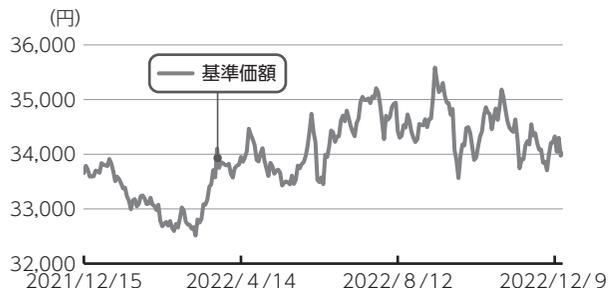
2022年12月15日現在

## 組入上位ファンドの概要

## 三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド

## 基準価額の推移

2021年12月15日～2022年12月15日



## 1万口当たりの費用明細

2021年12月16日～2022年12月15日

| 項目        | 当期    |         |
|-----------|-------|---------|
|           | 金額(円) | 比率(%)   |
| (a) その他費用 | 7     | 0.021   |
| （保管費用）    | (7)   | (0.021) |
| （その他）     | (0)   | (0.000) |
| 合計        | 7     | 0.021   |

期中の平均基準価額は、33,995円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

## 組入上位10銘柄

(組入銘柄数：80銘柄)

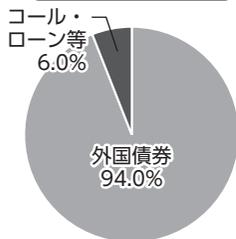
|    | 銘柄                  | 種類 | 国・地域 | 業種/種別 | 比率(%) |
|----|---------------------|----|------|-------|-------|
| 1  | 2.875 T-NOTE 280815 | 債券 | アメリカ | 国債    | 5.5   |
| 2  | 2 T-NOTE 250815     | 債券 | アメリカ | 国債    | 5.2   |
| 3  | 1.625 T-NOTE 260215 | 債券 | アメリカ | 国債    | 4.6   |
| 4  | 3.25 BUND 420704    | 債券 | ドイツ  | 国債    | 4.5   |
| 5  | 2.75 T-NOTE 240215  | 債券 | アメリカ | 国債    | 3.8   |
| 6  | 1.875 T-NOTE 290228 | 債券 | アメリカ | 国債    | 3.6   |
| 7  | 0.125 T-NOTE 230915 | 債券 | アメリカ | 国債    | 3.6   |
| 8  | 0 O.A.T 320525      | 債券 | フランス | 国債    | 3.4   |
| 9  | 0 ITALY GOVT 260401 | 債券 | イタリア | 国債    | 3.4   |
| 10 | 4.25 T-NOTE 240930  | 債券 | アメリカ | 国債    | 2.9   |

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。  
※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

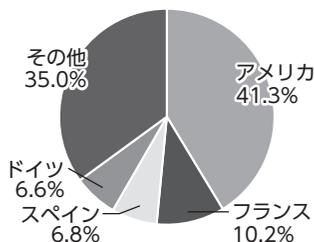
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

## 種別構成等

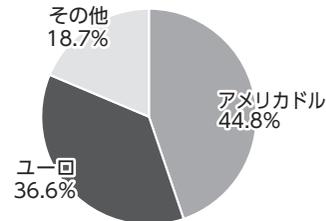
## 資産別配分



## 国・地域別配分



## 通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。  
構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

# 指数に関して

## ▶ ファンドのベンチマークである『FTSE世界国債インデックス（除く日本・円ベース）』について

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

## ▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

### ● 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの数値及びTOPIXに係る標準又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標準又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

### ● MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ● MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ● NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

### ● FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ● JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J.P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ.P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信